

ギャロン地域のカムチベット語・丹巴県蒲角頂 [Rongbrag] 方言の音声分析と語彙

著者	鈴木 博之
雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	33
号	1
ページ	39-80
発行年	2008-12-25
URL	http://doi.org/10.15021/00003941

ギャロン地域のカムチベット語・丹巴県蒲角頂 [Rongbrag] 方言 の音声分析と語彙

鈴木博之*

Khams Tibetan Rongbrag [Zhanggu] dialect: phonetic analysis with a wordlist

Hiroyuki Suzuki

中国四川省西部にある丹巴県は、チベット文化圏のギャロンと呼ばれる地域に属するが、同地で話されるチベット語方言についてはあまり知られていない。本稿では、未記述の方言である章谷鎮蒲角頂村で話される Rongbrag 方言の音声分析を行い、基礎語彙（約 1100 語）を提供する。音声分析は超分節音（声調）、母音、子音に分けて行い、またチベット文語形式と比較してどのような音対応を見せるかを考察する。

Danba County, in a part of the Tibetan cultural area known as rGyalrong, is located in the west of Sichuan, China, and several previously undescribed Tibetan dialects are spoken there. This article analyses phonetic aspects of Rongbrag Tibetan, one of those undescribed dialects, and provides a wordlist (ca. 1100 words). The phonetic analysis includes suprasegmentals (tones), vowels, and consonants, as well as an analysis of correspondences with Written Tibetan, in order to consider the sound changes that have taken place in Rongbrag Tibetan.

* 日本学術振興会特別研究員，国立民族学博物館外来研究員

Key Words : Tibetan, Khams, rGyalrong, dialectology, phonetics
キーワード：チベット語，カム，ギャロン，方言学，音声学

1 はじめに	5 子音
1.1 概況	5.1 単子音
1.2 先行研究	5.2 子音連続
1.3 Rongbrag 方言の資料	6 藏文と口語形式の対応関係
2 Rongbrag 方言の音体系	6.1 初頭子音
3 超分節音	6.2 母音および母音 + 末子音
4 母音	6.3 藏文と一致しない口語形式
4.1 非鼻母音	7 まとめ
4.2 鼻母音	

1 はじめに

チベット語はチベット・ビルマ諸語の中で最も広い地域で話される言語で、方言差異が非常に大きい。その方言調査は中国国内に分布するものをもって考えてみれば、大規模な調査が行われ多くの研究がある。しかし、チベット語方言の多様性に対して、十分な数の地点において調査が行われたかといえば、決してそうであるということとはできない。たとえば、格桑居冕・格桑央京(2002: 72)ではカムチベット語は方言差異の激しいものであると述べているが、実際具体的にどの程度の、またどのような差異が存在するのかについては、十分に把握されているわけではない。いくつかの代表地点の形式しか知られていないのである。

本稿で記述するチベット語方言は、カムチベット語の中でも特異な特徴をもつ「二十四村方言群」に属する一種である。言語学的な記述研究が非常に少なく、その詳しい状況は最近になるまでほとんど不明であった。この方言群は調査によって音声・語彙の面で内部分岐が激しいものであることが判明した。本稿では、これまでに記述されたことのない方言を取り上げ、その音声分析を行い、末尾に語彙(約 1100 語)を提示する。

1.1 概況

二十四村方言は、四川省西部の甘孜藏族自治州丹巴県で話されるカムチベット語に属する方言で、その中で独立の下位方言を形成していると考えられる(鈴木 2006b)。

丹巴県は四川省の西部、古来より多くの民族が行き交った地域である「川西民族走廊」のほぼ中央部に位置し、「ギャロン」と呼ばれる地域の精神的な中心地である。川西民族走廊には多くの少数民族が居住しており、現在居住する主な民族はチベット族・羌族・彝族である。この地域はまた、チベット文化圏とそれ以外の文化圏との境界をなしており、ギャロンはチベット文化圏の東端の一部を占めている。この地域では、近年の研究によって多くの新種の言語が発見され、これらの言語群は総称として川西走廊諸語と呼ばれている（ただしチベット語と彝語を除く）。丹巴県の文化的背景は楊嘉銘 (2004) が詳しい。

丹巴県の言語事情は非常に複雑である。本稿で扱う方言の所属は確かにチベット語と考えてよいが、母語話者はギャロンを自称する。ギャロンという呼称は定義が一定しておらず、歴史的背景を踏まえた地域をさすものが通用していることが多い（楊嘉銘 2005）。問題なのは、ギャロンというアイデンティティーを持つ人々がチベット族に属し、その多数がチベット語とは異なる言語であるギャロン語を母語とすることである。ところが、ギャロンの人々の中にはギャロン語とは別の言語を母語とする（漢語は除く）人々もいて、丹巴県西部革什扎河流域ではゲシツァ語を、同県南東部大渡河流域では本稿で扱うチベット語を母語とする。これらの地域の人々もまたギャロンを自称する。ギャロン語は、県北部巴底郷や県東部太平橋郷などで用いられている言語である。現在では、ギャロン語やゲシツァ語はチベット・ビルマ系の言語ではあるが、チベット語とは別語支に属していると理解されている。しかしながら、互いの系統関係については未だ定説がなく、地域的観点から川西走廊諸語とまとめられる。

二十四村方言は、徐君 (2001) によると章谷鎮、中路郷、水子郷、岳扎郷、梭坡郷、格宗郷などで話されている。筆者の調査では、さらに格宗郷から交通路のある小金県潘安郷のチベット語方言も、二十四村方言の一種であることを聞いた。このチベット語分布地域は、言語分布の観点から見て、東側にギャロン語、北側及び西側にゲシツァ語、南側にグイチョン語それぞれの分布地域と接しており、チベット語方言としては孤立して分布しているように見える。かつては、丹巴県の東、小金県の南に位置する地域（現在の雅安市宝興県）にも、二十四村方言に酷似した特徴をもつ方言が話されていたことが、約 250 年前に作成された《西番譯語》〈川六〉（《木坪譯語》）という文献から分かるが（鈴木 2007d; 2007e）、同地では現在もはや話されていない。丹巴県内でも、章谷鎮、水子郷、岳扎郷などでは、主要交通路のある近辺ではすでに使用言語が漢語にとって代われ、チベット語は標高の高い位置にある村で話されているにとどまる。また、若年層ではチベット語の十分な運用能力を保持している割合が低く、近

い将来この地域におけるチベット語方言の消滅が危惧される。

1.2 先行研究

丹巴県には複数の少数言語が分布し、その文脈のもとで劉輝強 (2001) や林俊華 (2006) が丹巴県のカムチベット語である二十四村方言を紹介している。後者には二十四村方言について方言差異と具体例の記載があるが、この記述と《丹巴県誌》(1996) の記述はあまり変わるところがない。これらの言及で注意する必要があるのは、丹巴県に分布する言語の中のチベット語という位置づけで書かれているという点である。したがって、チベット語の方言上の特質が明らかにされているわけではない。一方で、多くのチベット語方言に触れる金鵬編 (1983) や瞿霽堂 (1991)、格桑居冕・格桑央京 (2002) などでは、丹巴県の方言について言及がない。張濟川 (1993: 305) には瞿霽堂の意見として丹巴方言がカムチベット語の東部方言群に分類されると紹介しているが、具体例はない。また、中国のチベット語方言の調査地点を整理する Zhang (1996) には丹巴の名称は含まれていない。

二十四村方言の言語学的研究は、筆者による梭坡 [Sogpho] 方言 (Suzuki 2005; 鈴木 2005b; 2006a; 2007a: 122–127; 2007b: 375–390; 2007g)、中路 [sProsnang] 方言 (鈴木 2007a: 116–126; 2007b: 359–374; 2007f)、格宗 [dGudzong] 方言 (鈴木 2007a: 128–133; 2007b: 391–413) のものがある。筆者は二十四村方言の下位分類として大渡河を中心に東西に分かれるとする (鈴木 2006b)。ただし、各郷で特に音声面に際立った異なりが確認でき、他の方言群と比べた場合、必ずしも下位分類の中でまとまった特徴を示すわけではない。以上の3方言を対照的に取り扱った研究 (鈴木 2007c) が、そのことを示している。この音声面の多様性に対し二十四村方言が1つの下位方言を形成するのは、この方言群の中で文法的特徴を共有しているからであると考えられるが、未だ十分な研究はなされていない。

本稿で扱うのは、章谷鎮蒲角頂村で話される章谷 [Rongbrag] 方言で、地理的には大渡河をはさんで梭坡郷の真向かいに位置する村で話されるものである。

1.3 Rongbrag 方言の資料

本稿で扱う Rongbrag 方言の資料は、筆者が2007年8月に丹巴県梭坡郷で行った現地調査で収集したものである。調査協力者はノム [Nor-bu] さん (女性、章谷鎮蒲角頂村出身) で、調査には Sogpho 方言話者のダワ・ドマ [Zla-ba sGrol-ma] さんが同席し、適宜調査に関する助言を得た。

2 Rongbrag 方言の音体系

ここではまず Rongbrag 方言の音体系全体について、超分節音、母音、子音、音節構造の順に紹介する。

超分節音

4 種の声調が認められる。声調は語単位にかかる。

ˉ : 高平 ˊ : 上昇 ˋ : 下降 ˆ : 上昇下降

母音

ほとんどの母音について、長短および鼻母音/非鼻母音の対立が存在する。

i	u	ɯ	u
e	ə	e	o
ɛ		ɔ	ʌ
a		ɑ	

子音

子音連続の構成要素としてのみ現れるものも含めた一覧

		両唇	歯茎	そり舌	硬口蓋	軟口蓋	声門
閉鎖音	無声有気	p ^h	t ^h	t̪ ^h		k ^h	
	無声無気	p	t	t̪		k	ʔ
	有声	b	d	d̪		g	
破擦音	無声有気		ts ^h		tʃ ^h		
	無声無気		ts		tʃ		
	有声		dz		dʒ		
摩擦音	無声有気	ɸ ^h	s ^h	ʃ ^h	ç ^h	x ^h	
	無声無気	ɸ, f	s	ʃ		x	h
	有声		z	ʒ	ʒ	ɣ	ɦ
鼻音	有声	m	n		ɲ	ŋ	
	無声	m̥	n̥		ɲ̥	ŋ̥	
流音	有声		l	r			
	無声		l̥	r̥			
半母音	有声	w			j		

音節構造

音節構造は、鈴木 (2005a) を参照して以下のように記述できる。

$${}^c C_i G V C C$$

このうち C_i (主子音) と V (音節核の母音) が必須である。

3 超分節音

Rongbrag 方言で弁別的な超分節音素は、ピッチの高低による声調の対立で、高平調、上昇調、下降調、上昇下降調の 4 種の型に分かれる。それらは語単位でかかる。

声調の音声学的な弁別特徴は、語頭および語末におけるピッチの高低である。ただし、3 音節以上の語では、2 音節末のピッチが声調の弁別特徴を担い、3 音節目以降は固有のピッチを担わず、低く平らになる傾向にある。

以下に、1~3 音節語の声調の具体的な現れを示す。[] 内には各音節の分節音を S で代表し、その右肩に調値を 5 段階で表示する。

	高平	上昇	下降	上昇下降
1 音節語	${}^h t\theta$ [S ⁵⁵] 「雲」	${}^i m\theta$ [S ¹³] 「人」	${}^s h\theta$ [S ⁵²] 「土」	${}^m i:$ [S ¹³²] 「火」
2 音節語	${}^f i l o {}^f w\theta$ [S ⁵⁵ S ⁵⁵] 「肺」	${}^i t s\theta r u u$ [S ¹³ S ⁴⁴] 「真珠」	${}^s h e: w\theta$ [S ⁵⁵ S ⁵³] 「雹」	${}^m l a {}^h x h\theta:$ [S ²⁴ S ⁵³] 「山」
3 音節語	${}^s t s\theta k a r a$ [S ⁵⁵ S ⁵⁵ S ²²] 「のこぎり」	${}^i k {}^h a \eta \tilde{e} {}^h k u u$ [S ²⁴ S ⁵⁵ S ²²] 「一昨日」	${}^s \eta a \eta \tilde{e} {}^h k u u$ [S ⁵⁵ S ⁵² S ²²] 「一昨日」	

以上に示した調値は、初頭子音によって若干異なりが現れるが、弁別的ではない。声調は型が弁別的に作用すると考えられる。

4 母音

母音には長短および鼻母音/非鼻母音の区別が確認され、弁別的である。以下では非鼻母音、鼻母音と分けて記述する。

4.1 非鼻母音

各母音の音価は表記に示されるものに代表されるが、/a/は [a] よりやや後ろよりになり、/u/は中舌狭母音 [ɨ] に近い音で実現されることもある。短母音/ɔ/は語末にある場合、出わりに調音点が広くなり [ɔʷ] と実現されることがしばしば観察される。

以下に母音の長短に着目して具体例を掲げる。

	通常母音例		長母音例	
i	ˆɲi mɔ̃	太陽	ˆmi:	火
e	ˆmbe	存在する	ˆsʰe: wɔ	電
ɛ	ˆrɛ bɔ	お下げ	ˆɫdɛ:	米
a	ˆhta pʰu	おす馬	ˆhsʰa:	金
ɑ	ˆh̄tɕʰɑ kɑ̄	氷	ˆpʰɑ: mu	めすぶた
ɔ	ˆsʰɔ	土	ˆhtɔ:	髪
ʌ	ˆtɕʰʌ h̄kɑ̄	チーズ	ˆpʌ:	チベット人
o	ˆso wɔ	帽子	ˆlɛ: dɔ: zu	ひつつかむ
u	ˆɳgu	頭	ˆzu:	搾る
ɯ	ˆtɕʰɯ	川	ˆdɯ: rɔ	顔
ʉ	ˆɳjɑ̄ du	青い	ˆlʉ:	綿羊
ə	ˆrə	山	ˆhpə:	羊毛
ɵ	ˆtɕʰɯ tsʰɵʔ	時間	ˆhtsɵ:	騒ぎ立てる

4.2 鼻母音

以下に母音の長短に着目して具体例を掲げる。なお、/u/の鼻母音は確認されておらず、/e, ʌ, ə, ɵ/の鼻母音かつ長母音も確認されていない。

鼻母音例			長母音例	
i	^{fi} ŋĩ	銀	ⁿⁱ ĩ:	心臓
e	^{se} ẽ	畑		
ɛ	^{hi} k ^h a ŋ ^h ẽ ^h kɯ	おととい	^h kō l̥ɛ:	くるぶし
a	ⁿ ts ^h ã nə	夜	^h tɕã:	小便
ɑ	^l ã	道	^ŋ ã:	鼻
ɔ	^{fi} mõ	傷	^s õ:	鉄なべ
ʌ	^s h ^l tɕu	30		
o	^p tõ ke	胸	^h tõ:	砂糖
u	^p a mũ	ひざ	^b l ^{fi} gũ:	燃え尽きる
ɯ	^h tsũ ^m bo	村		
ɨ				
ə	^p ts ^h ə	外側		
ɵ	^s h ^a ŋɵ	種		

5 子音

子音は、初頭子音について単子音および子音連続に分けて具体例を挙げつつ考察する。末子音については、/ʔ, w, j/などに限られ、複数存在する例には/wʔ, jʔ/がある。

5.1 単子音

単子音の具体例は、可能な限り 2 例ずつ挙げる。

5.1.1 閉鎖音・破擦音

Rongbrag 方言は、声門閉鎖音/ʔ/を除いて、各調音点に有気、無気、有声の 3 系列を有する。

そり舌閉鎖音/^ht, t, q/の実際の音価には、特に有気音については閉鎖とともに微弱な摩擦の要素も含み、たとえば [^{sh}] のようになって破擦のように聞こえる場合があるが、これは歯茎や前部硬口蓋の破擦性とは明らかに異なっている。破擦音とする音素の音声実態には、十分な摩擦音成分が含まれており、[ts] や [t^hɕ] のように表せるが、そり舌音については [t^s] と書き表すには摩擦音成分が弱い。

歯茎破擦音/ts, ts^h, dz/は、それぞれ [ts, ts^h, dz] のほか、ときどき舌端歯裏破擦音 [ts̥, ts̥^h, dz̥] で実現されることがある。

	例語	語義	例語	語義
p^h	ˈp ^h ɑʔ	ぶた	ˈp ^h ɑ fiə	火薬
p	ˈpa m̄u	ひざ	ˈpə	牛
b	ˈbɔ: mə	身ごもる	ˈrɛ bɔ	お下げ
t^h	ˈt ^h uʔ	昇る	ˈt ^h ɑ lɔw	松
t	ˈtɑ:	熊	ˈta mu	ズボン
d	ˈdə zi	1つの	ˈde: lɔ:	しかる
t^h	ˈt ^h ɪ ^h t̄	苗	ˈt ^h ɑʔ ^h gu	鷹
t	ˈtɔwʔ	6	ˈtu	船
d̥	ˈt̄t̄ɔwʔ	16	ˈt̄ɔ	ボタン
k^h	ˈk ^h ɑ wə	雪	ˈk ^h ɑ: mə	苦い
k	ˈka ʂã	脊椎	ˈke:	壁
g	ˈge: ts ^h ɛ: nə	石屋	ˈge ^h gã	教師
ʔ	ˈʔa ^h ku	父	ˈʔa ^h ma	母
ts^h	ˈts ^h ɔ	塩	ˈts ^h ɑ wə	甥
ts	ˈtsə ka ra	のこぎり	ˈtso wə	ねずみ
dz	ˈlɑ ^h go ˈdzaj	抱擁する	ˈp ^h ɑ: dzə	カササギ
t̄^h	ˈt̄ ^h u	水	ˈt̄ ^h ɑ: mə	大きい
t̄	ˈt̄ɛ t ^h je	カーテン	ˈt̄ɛɑ	茶
dz̥	ˈdza: xã	靴	ˈdz̄u ts ^h əʔ	スープ

5.1.2 摩擦音

Rongbrag 方言は歯茎、そり舌、軟口蓋の摩擦音に有気、無気、有声の3系列を有する。前部硬口蓋摩擦音は有気、有声の2系列が、両唇摩擦音は有気、無気の2系列が、声門摩擦音は無声、有声の2系列が存在する。さらに唇歯音/f/もある。

/h/は単独では確認されず、/ɸ/は1例のみ確認される。/ɸ^h, ɸ^h, ɸ/は語中でのみ現れる。/f/は漢語からの借用語を除いては、1例しか確認されていない。/ɸ/は有気音 [ɸ^h] を許容しないため、/ɸ^h/と異なるものとして扱う。

	例語	語義	例語	語義
φ ^h	ˊtea φ ^h ū	柏	ˊtea φ ^h ū	茶の木
Φ	ˊpaʔ ^h pa:	払い戻す		
f	ˊfa ˊmū	悪魔		
s ^h	ˊs ^h u	菌	ˊs ^h a x ^h ō	宿屋
s	ˊsa: wɔ	低い	ˊsi: bɔ	露
z	ˊpa zeʔ	ぶたの餌	ˊkə zu:	水がめ
ʂ ^h	ˊʂ ^h ɔ	肉	ˊʂ ^h ow mə	薄い
ʂ	ˊʂā ʂā	まっすくな	ˊʂo wɔ	帽子
z	ˊzɔwʔ	ふもと	ˊʔa zō	母方の兄弟
ɕ ^h	ˊts ^h a ɕ ^h u	汗	ˊmej ɕ ^h u	涙
ʒ	ˊze: zə	酔う	ˊza:	かさが増す
x ^h	ˊx ^h i ⁿ dzə du	きつつき	ˊs ^h a x ^h ō	宿屋
x	ˊxū	靴屋	ˊxe: dzoʔ	唐辛子
ɣ	ˊji ɣi	文字	ˊʂ ^h o ɣu	紙
h				
fi	ˊfiuʔ bɔ	ふくろう	ˊt ^h o fia	雷

5.1.3 共鳴音

Rongbrag 方言の共鳴音は、半母音を除いて有声と無声の 2 系列が存在する。

/r, ɾ/ の実際の音価には、代表的なものとして [ɽ, r, ɾ, ɽ̥] など複数あるが、摩擦音成分 [z, ʂ] は含まない。摩擦音音素 /z, ʂ/ と対立するためであろう。

	例語	語義	例語	語義
m	ˊmu ɳā:	蚊	ˊmi:	火
m̥	ˊm̥ā	薬	ˊm̥i fiɔ	あざ
n	ˊnā	天	ˊna: bu	黒い
ŋ	ˊŋā:	鼻	ˊʂ ^h i ŋɔ	幹
ŋ̥	ˊŋ̥ɔ	魚	ˊŋo wɔ	親戚
ŋ̥	ˊŋ̥i:	心臓	ˊŋ̥u mɔ	竹
ŋ	ˊŋu:	炒める	ˊŋɔ	私
ŋ̥	ˊŋ̥e ^{fi} dzi	枕	ˊŋ̥ā du	青い

l	lā	歌う	˘lā	道
l̥	l̥o	神	l̥aʔ l̥aʔ	ゆるい
r	˘ruu hpo	骨	˘rə	尾根
r̥	˘roʔ tɕʰi	朝	˘hkõ rā	裸足
w	˘wo dwoʔ	にんにく	˘wo tɕʰo	角 (つの)
j	˘ja:	もっている	˘ji ɣi	文字

5.2 子音連続

ここでは、Rongbrag 方言における子音連続を主子音 C_i に先行する要素によって大まかに分類して述べ、ついでわたり音 G を含むもの、および3子音連続について述べる。

子音連続にかかわる分析方法の詳細は鈴木 (2005a) を参照。

5.2.1 前鼻音

前鼻音は、閉鎖音・破擦音の有声音、無声有気音に先行する。基本的に鼻音部分と後続子音の調音点、有声性が一致するが、その中で調音点が一致しない例が1例確認されている。以下に有声音、無声有気音の順に分けて例を挙げる。

有声音に先行する場合

^m b :	^m buu lū	虫
ⁿ d :	ⁿ da	暗唱する
ⁿ d̥ :	ⁿ d̥o	小麦
^ŋ g :	^ŋ ga:	鴨
ⁿ dz :	ⁿ dzuu gi:	指
ⁿ dʒ :	ⁿ dʒo	虹
ⁿ l :	ⁿ li: h̥tɕā	蒸し器
^m d̥ :	^m d̥i:	鬼

無声有気音に先行する場合

^m p ^h :	^m p ^h a: mə	飛ぶ
ⁿ t ^h :	ⁿ t ^h u: mə	高い

- $\overset{h}{t}^h$: $\overset{h}{t}^h e j p \circ$ 胆嚢
 $\overset{h}{k}^h$: $\overset{h}{k}^h e : m \circ$ 腎臓
 $\overset{h}{ts}^h$: $\overset{h}{ts}^h e p \circ$ 脾臓
 $\overset{h}{t\zeta}^h$: $\overset{h}{t\zeta}^h u^h k u$ 口

5.2.2 前気音

前気音は、その有声性が後続子音と一致する。

- h_p : $\overset{h}{p} \circ$ 草地
 h_t : $\overset{h}{t} \circ$ 馬
 $h_{t\alpha}$: $\overset{h}{t\alpha}$ 怖がる
 h_k : $\overset{h}{k} \bar{a}$ 乾く
 h_{ts} : $\overset{h}{ts} \bar{o} m \circ$ 清潔な
 $h_{t\zeta}$: $\overset{h}{t\zeta} e ?$ 1
 h_s^h : $\overset{h}{s}^h a :$ 金
 h_s : $\overset{h}{s} \bar{a}$ かろうそ
 h_{ζ^h} : $\overset{h}{\zeta} \bar{a}^h h i :$ カメムシ
 h_{ζ} : $\overset{h}{\zeta} e :$ ほとばしる
 h_l : $\overset{h}{l} \bar{a}$ 打つ
 $\overset{h}{b}$: $\overset{h}{b} o : m a$ 狂人
 $\overset{h}{d}$: $\overset{h}{d} a^h p e$ 爪
 $\overset{h}{d}$: $\overset{h}{d} i :$ 蛇
 $\overset{h}{g}$: $\overset{h}{g} o m \bar{a}$ 卵
 $\overset{h}{dz}$: $\overset{h}{dz} \bar{o}$ 学ぶ
 $\overset{h}{dz}$: $\overset{h}{dz} a$ ほとばしる
 $\overset{h}{z}$: $\overset{h}{z} i :$ まじめな
 $\overset{h}{z}$: $\overset{h}{z} \bar{a}$ 他の人
 $\overset{h}{m}$: $\overset{h}{m} \bar{o}$ 傷口
 $\overset{h}{n}$: $\overset{h}{n} \bar{o} b \circ$ 肩
 $\overset{h}{\eta}$: $\overset{h}{\eta} a : m \circ$ 軍人
 $\overset{h}{\eta}$: $\overset{h}{\eta} a^h t \zeta u$ 50

$^{\text{h}}\text{l}$: $^{\text{h}}\text{la}^{\text{h}}\text{p}\bar{\text{a}}$ 活仏

$^{\text{h}}\text{w}$: $^{\text{h}}\text{wa}^{\text{h}}\text{ni}^{\text{h}}\text{n}\bar{\text{a}}$ あなたたち 2 人

$^{\text{h}}\text{j}$: $^{\text{h}}\text{ja}^{\text{h}}\text{k}^{\text{h}}\text{o}^{\text{h}}?$ 春

5.2.3 先行子音が口腔内調音子音（声門閉鎖含む）

先行子音が声門閉鎖含む口腔内調音子音となる例は複数のタイプがある。先行子音が両唇音となるものが比較的多いほかは、少数例にのみ確認され例外的とみなせるが、音声学的に明確に確認されるため掲げておく。

先行子音が両唇音のもの

$\text{p}^{\text{h}}\text{t}$: $\text{p}^{\text{h}}\text{t}^{\text{h}}\text{o}^{\text{h}}\text{m}\bar{\text{a}}$ 知り合い

$\text{p}^{\text{h}}\text{t}$: $\text{p}^{\text{h}}\text{t}^{\text{h}}\text{u}^{\text{h}}\text{t}^{\text{h}}\text{e}^{\text{h}}\bar{\text{u}}\text{m}\bar{\text{a}}$ 踊り

$\text{p}^{\text{h}}\text{ts}^{\text{h}}$: $\text{p}^{\text{h}}\text{ts}^{\text{h}}\text{a}^{\text{h}}\text{bui}^{\text{h}}\text{le}^{\text{h}}?$ 蝶

$\text{p}^{\text{h}}\text{ts}$: $\text{p}^{\text{h}}\text{tsu}^{\text{h}}$ 鶏

$\text{p}^{\text{h}}\text{t}^{\text{h}}\text{e}^{\text{h}}$: $\text{p}^{\text{h}}\text{t}^{\text{h}}\text{e}^{\text{h}}\text{e}^{\text{h}}\text{ba}$ 鳥

$\text{b}^{\text{h}}\text{d}$: $^{\text{h}}\text{d}\bar{\text{a}}^{\text{h}}\text{b}^{\text{h}}\text{d}\bar{\text{a}}$ 石

$\text{w}^{\text{h}}\text{g}$: $^{\text{h}}\text{g}^{\text{h}}\text{u}^{\text{h}}\text{r}\bar{\text{a}}$ 分家する

$\text{w}^{\text{h}}\text{z}$: $^{\text{h}}\text{z}^{\text{h}}\text{u}^{\text{h}}$ する

$\text{w}^{\text{h}}\text{z}$: $^{\text{h}}\text{z}^{\text{h}}\text{a}^{\text{h}}\text{z}^{\text{h}}\text{o}^{\text{h}}$ 忘れる

$\text{w}^{\text{h}}\text{r}$: $^{\text{h}}\text{r}\bar{\text{a}}^{\text{h}}$ 客

先行子音が歯茎音のもの

$\text{s}^{\text{h}}\text{ts}^{\text{h}}$: $^{\text{h}}\text{s}^{\text{h}}\text{ts}^{\text{h}}\bar{\text{a}}^{\text{h}}$ 屁

$\text{d}^{\text{h}}\text{n}$: $^{\text{h}}\text{d}^{\text{h}}\text{na}^{\text{h}}\text{m}\bar{\text{a}}$ 読む

先行子音が声門閉鎖音のもの

ʔj : $^{\text{h}}\text{j}^{\text{h}}\text{no}^{\text{h}}\text{b}\bar{\text{o}}$ 主人

5.2.4 わたり音を含むもの

わたり音には w と j が存在する。

/w/を含むもの

- t^hw** : ʔna t^hwi ネットレス
gw : ʔgwa fie ^{-h}dzo fie めちゃくちゃの
tc^hw : ^{-fi}gō tc^hwe 四肢障害者
xw : ʔxa xwo: mə シャっくりする
ɣw : ʔmə ʔtəō ɣwə 独身
ŋw : ʔse: ʔx^hō ŋwaʔ ⁻na 消化する
lw : ʔpa lwa ヨーグルト
rw : ⁻ⁿdza la rwa 午前

/j/を含むもの

- pj** : ʔpja zeʔ ふたの餌
bj : ʔjaw bjaw いつか
t^hj : ʔtce t^hje カーテン
gj : ʔgje: mə 結ぶ
nj : ^{-fi}dze nje: 小腸
lj : ʔlaj ts^haj 腕

5.2.5 3 子音連続

Rongbrag 方言でもっとも複雑な初頭子音の形式である。

- ^ht^hw** : ʔa ^ht^hwi: 猿
^hd^hw : ^hd^hw: 米
^pk^hw : ^{-p}kwoʔ むく
^hk^hw : ^{-h}kwə はぐ
^hg^hw : ^hgwa ma はげた
^pts^hw : ^{-p}ts^hw: 血

- ^{fi}dʒw: ^{-fi}dʒwa: 漢族
^hʂw: ^hʂwaʔ tɕ^ha ʔbe: 話す
^mbj: ^mbjə roʔ 庭
ⁿtʰj: ⁿtʰje: mə 寒い
^hlj: ^hljəʔ はやぶさ

6 蔵文と口語形式の対応関係

チベット語諸方言はチベット語文語形式（以下「蔵文」と書く）との対応関係を明瞭に得ることができる場合が多く、蔵文との音対応を考察することも重要な作業である。この考察は通時的な議論につながるが、ここでは本格的な通時的考察を行うのではなく、方言の特徴づけを行うためのいくつかの指標に基づいた対応関係を提示する。

丹巴県のカムチベット語は、特異な蔵文との音対応を見せることが判明していて、すでに鈴木 (2007c) の対照研究がある。そこで注目される点について、Rongbrag 方言ではどのようなになっているのか、以下で考察する。

6.1 初頭子音

6.1.1 閉鎖・破擦・摩擦音の有声性

Rongbrag 方言では、閉鎖・破擦音および摩擦音について、蔵文で基字に先行する子音がない有声音字 *g, j, d, b, dz, zh, z* は、それぞれの調音点の無声無気音に対応する。たとえば、^ʔpo 「めす牛」(*ba*), ^ʔtā: 「熊」(*dom*), ^ʔʂo wo 「帽子」(*zɰwa ba*), ^ʔso: mə 「深い」(*zab*) などである。

また、これらの文字に足字がある場合も同じくの無声無気音に対応する。たとえば、^ʔtso wo 「ねずみ」(*byi ba*), ^ʔtʰa: p^huʔ 「洞穴」(*brag phug*), ^ʔtə dzī 「ナイフ」(*gri chung*) などである。

以上の蔵文有声音字に先行子音（頭字，前接字）が存在するとき、Rongbrag 方言では有声音で現れる。たとえば、^{fi}gā: 「箱」(*sgam*), ^{fi}dū mə 「丸太」(*sdong mo*), ^{fi}dʒwa: 「漢族」(*rgya*), ^{fi}dō naʔ 「ハエ」(*sbrang nag*) などのようである。

これらの対応関係はほぼ二十四村方言に共通して見られる。

6.1.2 藏文 sh, zh 対応形式

Rongbrag 方言では、基本的にそり舌摩擦音が対応する。たとえば、^hʂ^hej「薪」(*shing*), ^hʂwo nə「肉屋」(*bshan pa*), ^hze: nī「しあさって」(*gzhis nyin*), ^ʔa zō「母方のおじ」(*a zhang*) などのようである。

この対応関係はいずれの二十四村方言にも見られるが、体系的に見られる方言 (sPro-snang 方言, dGudzong 方言) とそうでない方言 (Sogpho 方言) に分かれる。

6.1.3 藏文 Py 対応形式

藏文 Py は、p, ph, b に足字 y を伴う形式を含む形式についていう。

Rongbrag 方言では、基本的に歯茎破擦音が対応し、しばしば初頭に両唇閉鎖音を伴う。たとえば、^hba Pts^he「開ける」(*phye*), ^htsu:「鶏」(*bya*), ^hdzō「学ぶ」(*sbyang*) などのようである。

以上の対応から、藏文 Py の対応形式は、もともと歯茎破擦音である藏文 *ts/tsh/dz* の対応形式と合流しているといえる。

この対応関係は二十四村方言に共通して見られ、かつ同方言を特徴づける最も際立つ対応関係である。

6.1.4 藏文 Ky 対応形式

藏文 Ky は、k, kh, g に足字 y を伴う形式を含む全ての対応形式についていう。

Rongbrag 方言では、基本的に前部硬口蓋破擦音が対応する。たとえば、^hte^ho「犬」(*khyi*), ^hdzaʔ「8」(*brgyad*), ^hteo zə「幸せな」(*skyid*) などのようである。

以上の対応から、藏文 Py の対応形式は、もともと前部硬口蓋破擦音である藏文 *c/ch/j* の対応形式と合流しているといえる。

この対応関係はいずれの二十四村方言にも見られるが、Sogpho 方言や dGudzong 方言には硬口蓋閉鎖音に対応する例もあって異なりがある。

6.1.5 藏文足字 r 対応形式

藏文足字 r を含む形式には、Pr (=pr, phr, br を含む形式), Kr (=kr, khr, gr を含む形式), tr, dr など閉鎖音を含むもののほか、sr などもある。

Rongbrag 方言では、藏文 sr を除いて基本的にそり舌閉鎖音が対応する。また、藏文 Pr の対応形式には最初頭に両唇音が現れることがあり、これは藏文に見える両唇

音要素の反映であると考えられる。たとえば, $\text{p}^{\text{h}}\text{o: m}\text{ə}$ 「細い」 (*phra*), $\text{ʰt}^{\text{h}}\text{w}$ 「産む」 (*ʰkhrung*), $\text{ʰ}\text{ɔw}?$ 「6」 (*drug*) などのようである。

藏文 *sr* は基本的に気音を伴う歯茎摩擦音が対応する。たとえば, $\text{ʰs}^{\text{h}}\text{a m}\text{ɔ}$ 「豆」 (*sran ma*), $\text{ʰs}\text{ɔ}$ 「両」 (*srang*) などのようである。

この対応関係は *sProsnang* 方言を除く諸方言に共通である。*sProsnang* 方言については、鈴木 (2007f) を参照。

6.1.6 前鼻音を含む子音連続

Rongbrag 方言の前鼻音を含む子音連続は、前鼻音要素に後続する子音に無声有気音と有声音がある。この口語形式は藏文との対応関係とうまく一致する点が多い。前鼻音要素と後続する子音は、調音点、有声性についてほぼ一致する。たとえば, $\text{m}^{\text{h}}\text{ts}^{\text{h}}\text{u}$ 「池」 (*msho*), $\text{m}^{\text{h}}\text{gu}$ 「頭」 (*mgo*), $\text{p}^{\text{h}}\text{u} \text{m}^{\text{h}}\text{t}^{\text{h}}\text{a} \text{m}\text{ə}$ 「踊り」 (*bro 'cham*) などのようである。

例外と考えられるものに $\text{m}^{\text{h}}\text{qi}$ 「鬼」 (*'dre*) がある。調音点が一致しない点に問題があるが、来源は不明である。

この対応関係は二十四村方言に共通して見られる。

6.2 母音および母音 + 末子音

基本的な対応関係は以下のように示すことができる。ただし、藏文再添後字 *s* は口語形式に明確な対応関係を得られないため、以下の表では省略する。また、いくつかの対応形式は不明であるため、空白にしてある。

V\C	#/'	b	d	g	m	n	ng	r	l	s
a	ɔ	ɔw	aʔ	aʔ/eʔ	ā	ã	õ/ö	a:/ɑ:	ɛ:	ɛʔ
i	ə		eʔ	ō	ī	ĩ/ẽ				e:
u	u/u		uʔ	u/ɔʔ	ō	ũ	ũ/õ	a:	i:	
e	i	eʔ	eʔ			ã	ĩ	ɛ:	i:	e:
o	u/ʌ		ʌʔ	oʔ	ā	ã/ẽ	õ	u		œ:/e:

藏文との対応関係は一対一になるとは限らない点が二十四村方言の特徴といえる。

基本的な傾向として、末子音が閉鎖音の場合は声門閉鎖音、鼻音の場合は鼻母音化、それ以外は長母音化が生じている。

母音の音価に注目すると、開音節の場合、蔵文の母音は Rongbrag 方言ではほぼすべて音質が変わっている点が特徴的である。蔵文で末子音をもつ場合でも、それに対応する口語形式で母音の音価が多く変わることが多い。

これらの傾向は、基本的に二十四村方言に共通するが、蔵文で末子音をもつ場合の母音の音質の変化の傾向が方言によって差が大きい。

6.3 蔵文と一致しない口語形式

各種チベット語方言には、蔵文と一致しない口語形式が少なからずある。この要素もまた方言を特徴づけるものとなり、二十四村方言について鈴木 (2007c: 242–245) に簡単にまとめられている。

まず、蔵文と一致しない口語形式には 2 種類に大別でき、1 つは蔵文に近いが細かい点で規則的な対応を見せていないもの、もう 1 つは語としてまったく異なる形式をとるものである。

前者の例としては、たとえば^htə「雲」(*sprin*) は蔵文の末尾鼻音が口語形式で反映されていない。逆に^hŋə「魚」(*nya*) では蔵文で末尾鼻音を伴わないのに口語形式で鼻母音が現れている点に注目できる。また、^mdʒi:「鬼」(*'dre*) では初頭の両唇鼻音が来源不明である。「雲」と「魚」の例は、二十四村方言全体を通して同様の口語形式を示している (鈴木 2007c: 242–243) 点も興味深い。

後者の例としては、前節に掲げた語例の中にも多数見出すことができる。たとえば、特殊な子音連続を見せる^wrā:「客」、^sts'hā:「屁」、^ʔji no bo「主人」などは、いずれも蔵文とうまく対応する語を見出せない。ほかにも、ⁿə^hka「明日」や^lgo ru:「青稞」などは二十四村方言全体を通して近似した口語形式を用い、いずれも蔵文と直接的に対応する形式ではない。

これらの特異に見える要素は、Rongbrag 方言をはじめ二十四村方言において共有される点も多いが、独自のものもある点で多様であるといえる。

7 まとめ

本稿では、未記述のチベット語方言である Rongbrag 方言の音声分析を行った。また、蔵文と対照することを通じて、同方言の音対応の特徴を明らかにした。

鈴木 (2007c) が述べるように、二十四村方言は音声面を取ってみても他のカムチベッ

ト語とは多くの点で異なる特徴を備えている方言であって、また二十四村方言の内部でさえも大きな差異が見られる。このため、できる限り細かい地点の方言資料を収集、分析する必要がある。また、当該方言の話者が減少しつつある状況から、早急に調査し記録する必要性も指摘できるだろう。

二十四村方言間の比較やそのカムチベット語全体から見た位置づけは極めて興味深い課題であり、稿を改めて行うことにする。

付 記

筆者による現地調査については、平成 16–19 年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (S)「チベット文化圏における言語基層の解明」(研究代表者：長野泰彦，課題番号 16102001) および平成 19 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)「川西民族走廊・チベット文化圏における少数民族言語の方言調査と地域言語学的研究」の援助を受けている。

文 献

- 華侃 [Hua, Kan] 編
2002 『藏語安多方言詞匯』蘭州：甘肅民族出版社。
- 金鵬 [Jin, Peng] 編
1983 『藏語簡誌』北京：民族出版社。
- 格桑居冕 [sKal-bzang 'Gyur-med]・格桑央京 [sKal-bzang dByangs-can]
2002 『藏語方言概論』北京：民族出版社。
- 林俊華 [Lin, Junhua]
2006 「丹巴県語言文化資源調査」『康定民族師範高等專科學校學報』5: 1–3。
- 劉輝強 [Liu, Huiqiang]
2001 「丹巴民族語言分布情況及其特徵」郎維偉・艾建編『大渡河上游丹巴藏族民間文化考察報告』pp. 96–100, 成都：四川省民族研究所。
- 瞿靄堂 [Qu, Aitang]
1991 『藏語韻母研究』西寧：青海民族出版社。
- 四川省丹巴県誌編纂委員會 [Sichuansheng Danba Xianzhi Bianzuan Weiyuanhui]
1996 『丹巴県誌』北京：民族出版社。
- 鈴木博之
2005a 「チベット語音節構造の研究」『アジア・アフリカ言語文化研究』69: 1–23。
2005b 「チベット語丹巴・梭坡 [Sogpho] 方言の音声分析」『ニダバ』34: 96–104。
2006a 「川西民族走廊・チベット語諸方言における *snang* の意味」第 9 回チベット = ビルマ言語学研究会発表原稿。
2006b 「九香線上的藏語方言對比研究」第 4 屆兩岸三地藏緬語族語言學學術專題討論會發表論文。
2007a 『川西民族走廊・チベット語方言研究』(学位博士論文，京都大学大学院文学研究科)。
2007b 『川西民族走廊・チベット語方言研究 チベット語諸方言分類語彙資料集』(学位博

- 士論文別冊資料，京都大学大学院文学研究科)。
- 2007c 「カムチベット語方言の多様性から見る丹巴県チベット語の方言特徴」『人文知の新たな総合に向けて 第 5 回報告書』(下巻)：231-249。
- 2007d 「清代木坪土司所管地区的藏語方言」『康定民族師範高等専科學校學報』3: 1-5。
- 2007e 「丁種本《西番譯語》〈川六〉に記録される 18 世紀木坪チベット語の特徴」『内陸アジア言語の研究』XXII: 157-180。
- 2007f 「チベット語中路 [sProsnang] 方言の /r/ を含む子音連続」『東京大学言語学論集』26: 31-47。
- 2007g 「カムチベット語丹巴県二十四村(梭坡)方言の格」チベット=ビルマ系言語から見た文法現象の再構築 (1)——格の体系とその周辺 第 2 回研究会発表原稿。
- Suzuki, Hiroyuki
 2005 *Dialectological subgroup of Sogpho (Danba) Tibetan*, unpublished manuscript presented at 11th Himalayan Language Symposium.
- 徐君 [Xu, Jun]
 2001 「梭坡藏族田野考察報告」郎維偉・艾建編『大渡河上游丹巴藏族民間文化考察報告』pp. 27-59, 成都：四川省民族研究所。
- 楊嘉銘 [Yang, Jiaming]
 2004 『千碉之国——丹巴』成都：巴蜀書社。
 2005 「解讀“嘉戎”」『康定民族師範高等専科學校學報』3: 1-5。
- 張濟川 [Zhang, Jichuan]
 1993 「藏語方言分類管見」戴慶廈等編『民族語文論文集——慶祝馬學良先生八十寿辰文集』pp. 297-309, 北京：中央民族學院出版社。
- Zhang, Jichuan
 1996 A Sketch of Tibetan Dialectology in China: Classifications of Tibetan dialects, en : *Cahiers de Linguistique - Asie Orientale* 25 (1): 115-133.

分類語彙

配列は華侃編 (2002) に準拠し、名詞、数詞、代名詞、形容詞、動詞の順で、名詞は意味によって小区分を設けた。

天文地理

天	ˈnã	洞窟	ˈla ^h x ^h u: ke ˈrə pu?
太陽	ˈni mō	洞穴	ˈtɑ: p ^h u?
光	ˈs ^h ō	川	ˈtɕ ^h u / ˈh ^h tsã tɕu
月	ˈn ⁿ da wɔ	池	ˈn ⁿ ts ^h u
星	ˈh ^h ka ^h mō	溝	ˈjo: wɔ
雲	ˈh ^h tə	井戸	ˈtɕ ^h u ro?
雷	ˈt ^h o fia	道	ˈlã
風	ˈfi ^h lũ ma	土	ˈs ^h ɔ
雨	ˈtɕ ^h a bɔ	畑	ˈɕɛ
虹	ˈn ⁿ dzɔ	乾燥地	ˈrə ^h wɔ
雪	ˈk ^h a wɔ	石	ˈfi ^h də ^h b ^h da
雹	ˈs ^h e: wɔ	砂	ˈp ^h tsə mō
霜	ˈtɕ: bə	埃	ˈs ^h ɔ
露	ˈsi: bɔ	泥	ˈs ^h ɔ
氷	ˈn ⁿ tɕ ^h a kã	水	ˈtɕ ^h u
火	ˈmi:	森	ˈna?
煙	ˈtə p ^h u: fiə	草地	ˈh ^h pō
電気	ˈs ^h ō s ^h ō	鉱石	ˈdə ^h b ^h da
空気	ˈfi ^h lɔ m ^h bɔ	金	ˈh ^h s ^h a:
地	ˈs ^h ɔ	銀	ˈfi ^h ŋi
山	ˈla ^h x ^h ɔ:	銅	ˈsō ma
尾根	ˈrə	鉄	ˈh ^h tɕa?
谷	ˈrə pa:	ダイヤ	ˈpa lu:
がけ	ˈrə	さび	ˈna: h ^h su:

炭 `s^he: wɔ
 ラサ ʔa s^hɔ
 村 ^htsũ^m bɔ

人体

体 ʔlu^h pu:
 頭 -^ŋgu
 髪 -^htɔ:
 お下げ ʔre bɔ / ^htɕaʔ ts^he
 額 ʔ^haʔ pɔ
 眉毛 ʔmej^h pu
 睫毛 ʔmej^h pu
 目 -^{fi}mej
 鼻 `ŋã:
 鼻の穴 -^{fi}na bu:
 耳 -^{fi}na tɕ^hwo
 顔 ʔdu: rɔ
 ほほ ʔk^haʔ p^hɔ
 口 `ŋ^htɕ^hu^h ku
 唇 `ŋ^htɕ^hu^h pa
 あごひげ ʔk^ha^h pu
 あご ʔmã: ke
 首 -^{fi}na: ni
 肩 ʔ^{fi}nɔ bɔ
 背 ʔge^{fi} dzɯ
 脇 ʔts^hɑʔ ʂ^hu
 胸 ʔtɔ^o ke
 腹 ʔ^hto^{fi} wɔ
 へそ ʔ^hta ge
 腰 ʔk^he: mɔ

橋 ʔtsã^m bɔ
 故郷 ʔñĩ nɔ s^hɔ

尻 ʔrɔ^m bɔʔ
 太もも -^hku^m bɔ
 ひざ `pa mũ
 下腿 ʔkɔ^h ts^haj
 足 -^hku^m bɔ
 くるぶし -^hkɔ^o ʔɕ:
 腕 ʔjaj ts^haj
 手 ʔe bɔ
 指 ʔⁿdzɯ gi:
 手のひら ʔe: ^hpa
 親指 ʔⁿt^ha bu
 中指 ʔⁿdzɯ gi^h pa: kɔ
 小指 ʔwa ze:
 爪 ʔs^ha: mũ
 拳 ʔku dzɯ
 皮膚 ʔ^ʂaⁿ dɔʔ
 しわ -^htsu^m bu
 あざ `mĩ fiɔ
 傷 -^{fi}mɔ
 傷口 -^{fi}mɔ
 白癬 ʔpo: s^heʔ
 肌 ʔ^ʂa ts^ho ts^ho / ʔsa: le
 血 ʔ^pts^hweʔ
 筋肉 ʔdzɯ^h pɔ
 脳 ʔ^{fi}laʔ pɔ

骨	ˆru h pɔ	腸	ˆfi dze mɔ
脊椎	ˆka sã	大腸	ˆgwa ɣa? / ˆfi dze ɣa?
骨髓	ˆru jɔ?	小腸	ˆfi dze nje:
齒	ˆs hu	大便	ˆh tsə ba
犬齒	ˆxã s hu	小便	ˆh tɕã:
舌	ˆh tɕi:	屁	ˆs ts huã:
喉	ˆh kwo mɔ	汗	ˆts hu a ɕ hu
喉仏	ˆla? t hu	痰	ˆtɕ hu ts hu?
肺	ˆfi lo fi wɔ	つば	ˆtɕ hu ts hu?
心臓	ˆfi:	鼻水	ˆnɔ hu tɕa
肝臓	ˆfi tɕ hu s m bo	涙	ˆmej ɕ hu
脾臓	ˆn ts hu e pɔ	声	ˆh ka?
腎臓	ˆfi k hu e: mɔ	死体	ˆru
胆嚢	ˆfi t hu ej pɔ	命	ˆso:
胃	ˆnɛ fi ge:		

人物

人	ˆmɔ	少年	ˆmɔ zã
人民	ˆmɔ	少女	ˆmɔ zã ˆt hu i?
チベット人	ˆpa:	公務員	ˆkɔ tswɔ wa
漢族	ˆfi dzwa:	商人	ˆh tɔ hu tsɔ zo
半漢半蔵	ˆfi dza ma: ˆts hu ə	医者	ˆmã mɔ
外国人	ˆwaj kwe fi dzɔ	農民	ˆɕ hu kɔ w bo
大人	ˆmɔ fi ga:	軍人	ˆfi ŋa: mɔ
子供	ˆmɔ tɕ hu	大工	ˆs hu i w zu mɛ
赤ん坊	ˆs hu a nɔ	鍛冶屋	ˆh tɕ a? fi dũ me
老人	ˆfi ga: bu	独身	ˆmɔ ˆtɕɔ ɣwə
老婦人	ˆfi ge: mu fi ga:	学者	ˆji ɣi ˆfi dzɔ nɔ
男	ˆmɔ	こじき	ˆlã mɔ ˆfi dzɔ
女	ˆmɔ ri:	泥棒	ˆh ku fi mɔ

病人	ˆnaʔ pɔ	息子	ˈpu zɪu
仇	ˆfi dɪ wɔ	息子の嫁	ˆfi na mɔ̃
皇帝	ˆh pã	娘	ˈpu mɔ̃
友人	ˆro fi wo	娘婿	ˆfi na mɔ̃
教師	ˆge fi gã	孫息子	ˆfi dzɪu fi dzɪu
靴屋	ˈdzã xã ˆfi dzɪu:	兄	ˈme: bu
石屋	ˈge: tsʰɛ: nɔ̃	姉	ˆsa ni ˈtɕa ma
肉屋	ˆh sɯo nɔ̃	弟	ˈme: bu ˈtɕeʰũ ma
四肢障がい者	ˆfi gɔ̃ tɕeʰwe	妹	ˆsa ni ˈtɕeʰũ ma
盲人	ˆmej kʰu	父の兄	ˈʔa hku ˈtɕa ma
聾啞者	ˆfi na ŋã	父の兄の妻	ˈʔa hku ˈtɕa mɔ̃ kʰe ˆmɔ̃ ri
禿げの人	ˆgɔ̃ mã	父の弟	ˈʔa zɔ̃
あばたのある人	ˆqã tsʰɛ:	甥	ˈtsʰa wo
猫背の人	ˆh kɔ̃ fi gu	兄弟	ˈsa ni ˈtɕeʰũ ma
ばか者	ˆfi lã mɔ̃	姉妹	ˈme me ˈtɕeʰũ ma
狂人	ˆfi bo: ma	母の兄弟	ˈʔa zɔ̃
口のきけない人	ˆkʰɔ: ɕɔ: mɔ̃ ˈŋiʔ nɔ̃	母の兄弟の妻	ˈʔa zɔ̃ ˆhpe: ˈmɔ̃ re:
主人	ˆʔi no bɔ	義理の父	ˈʔa hku
客	ˆw rã:	親戚	ˆno wɔ
知り合い	ˆpʰəʔ mɔ̃	夫	ˆmɔ̃
知らない人	ˈŋu ˈmɔ̃ sʰe: mɔ̃	妻	ˆmɔ̃ re:
祖父	ˈʔa mi	未亡人	ˆfi nɔ̃ ma: ˈnɔ̃ʔ
祖母	ˈʔa tsʰɔ̃	双子	ˆpʰo: ni ˈiʰu ma
父	ˈʔa hku	私生児	ˈne pʰuʔ
母	ˈʔa fi ma	孤児	ˆpʰa mɔ̃ mã: mɔ̃
両親	ˆpʰa mã		
家畜			
家畜	ˆfi lã su	黄牛	ˆfi lã:
牛	ˈpɔ	水牛	ˆtɕeʰu fi lɔ̃

ヤク	ˈfi:jaʔ	羊糞	ˈra hʔtɕaʔ
ゾ	ˈnɰdzu	ぶた	ˌpʰaʔ
おす牛	ˈfi:lā je ba / ˈfi:lā:	めすぶた	ˌpʰa: mū
めす牛	ˈpɔ	おすぶた	ˌpʰa: pʰu
乳牛	ˈpɔ	子ぶた	ˈpʰaʔ ge
湿牛糞	ˈpa hʔtɕa:	ぶた糞	ˈpʰaʔ hʔtɕaʔ
角	ˈwo tɕʰo	犬	ˌtɕʰə
皮	ˌhpa: ba	めす犬	ˌtɕʰə mū
毛	ˌhpu	獵犬	ˌtɕʰə pʰu ji ba
尾	ˈdze mō	犬糞	ˌtɕʰi ˌhʔtɕa:
馬	ˌhɔ	猫	ˈtsə lu
子馬	ˌhɰi: tsə	うさぎ	ˈrə bō
おす馬	ˌhta pʰu	鶏	ˈpʰtsu:
めす馬	ˌhta mū	おんどり	ˈpʰtsa pʰu
馬糞	ˌhta hʔtɕaʔ	めんどり	ˈpʰtsa mū
羊	ˈrɔ	とさか	ˌtʰa dzo
綿羊	ˈlu:	翼	ˈpa: pɔ
めす綿羊	ˈlaw mū	羽	ˈpʰtsa hpu
山羊	ˈra ɰga	鶏糞	ˈpʰtɕʰu hʔtɕe:
子山羊	ˈre ze	鴨	ˈɰga:
子綿羊	ˈluʔ gi	がちょう	ˈɰga:
羊毛	ˌhpə:	鳩	ˌpʰuʔ roʔ

その他の動物

野獸	ˌfi:za fie: ˈhʔtā sʰū	野牛	ˈfi:ja: ˌkoʔ
虎	ˌhʔaʔ	豹	ˌfi:zeʔ
龍	ˈnɰɰu:	熊/パンダ	ˈtā:
爪	ˌfi:da hpe	いのしし	ˌpʰaʔ fi:goʔ
猿	ˈʔa hʔwi:	鹿	ˌsʰa fi:wo
象	ˌfi:lā mʰbu tɕʰe	黄羊	ˈra fi:gu

キバノロ ^{-fi}la ^{fi}wɔ
 野口バ ^{-h}ta ^{fi}gɔ?
 かわうそ ^{-h}sā
 ねずみ ^ʼtsɔ wɔ
 ねずみ糞 ^{-p}tsə ^htɕe?
 いたち ^{-p}tsə gē
 鳥 ^ptɕ^he: ba
 鳥の巢 ^ptɕ^he: ts^hō
 鳥糞 ^ptɕ^he tɕa?
 鷹 ^th^ha? ^{fi}gɔ
 はやぶさ ^{-h}lja?
 ふくろう ^ʼfiu? bɔ
 ツバメ ^ʼtɕa: tsə `li tsī
 すずめ ^ptɕ^ho bɔ
 カササギ ^{-p}h^ha: dzə
 からす ^ptsa: rwə
 めじろ ^ptsa ku
 鸚鵡 ^ʼnē zu?
 啄木鳥 ^xh^hiⁿdzə du
 カッコウ [`]k^htu^hku
 孔雀 [`]ma dzɯ

植物

木 ⁻ɕ^hū p^hū
 枝 ⁻ɕ^hi^lje
 苗 ⁻t^hi^htō
 幹 ⁻ɕ^hiⁿō
 根 ^{-h}tsa^hkō
 葉 ^ʼla mō
 花 ^{ʼm}bə do?

亀 ^ʼwu pɔ / ^ʼwu wɔ
 蛇 ^{ʼfi}dji:
 蛙 ^ʼbɛ: bɔ
 トカゲ ^{ʼfi}be: t^ha?
 魚 ^ʼnō
 虫 ^{ʼm}bui lū
 カメムシ ^ʼqɔ^hɕ^hi:
 しらみ ^ʼɕ^hej?
 幼虫 [`]s^ha mō
 ハエ ^{ʼfi}dō na?
 蚊 [`]muɯ ɟā:
 蜘蛛 ^ʼtɔ ro?
 蜘蛛の糸 ^ʼtɔ t^he
 ムカデ ^{ʼfi}be: tsə ʼa:
 ミミズ ^ʼka: də le?
 アリ ^ʼtɔ ma ts^he?
 アリ塚 ^ʼtɔ: ts^hō
 ミツバチ ^ʼtō mɔ
 とんぼ [`]tɕ^hə muɯ nū
 蝶 ^pts^ha: buɯ le?
 蝸牛 ^{ʼm}bui ʼɔ ɔō

苙 ^ʼta ɔə lo
 柳 ^ʼdzō p^hu
 柏 ⁻tɕa φ^hū
 松 ^ʼt^ha lɔw
 松脂 ⁻ɕ^hɔⁿqɔ
 ポプラ ^ʼpō φ^hū
 茶の木 ^ʼtɕa φ^hū

竹	ˈŋu mō	綿	ˈpe:
とげ	ˈtsʰə mō	野菜	ˈxa ruʔ
果物	ˈʃʰi tʰo: / ˈʃʰi tsʰo:	大根	ˈla buʔ
桃	ˈhkaṃ bu	唐辛子	ˈxe: dzoʔ
梨	ˈlə	たまねぎ	ˈhtsowʔ
みかん	ˈhka: ṃ dzə	にんにく	ˈwo dwəʔ
柿	ˈʃʰi tsʰo:	白菜	ˈgwo dze
ぶどう	ˈʃʰi tsʰo:	ジャガイモ	ˈjā ju
胡桃	ˈhta ṃ go	食用種子	ˈpej bo
穀物	ˈla tʰoʔ	豆	ˈsʰa mō
食料	ˈqɯ ṃ qɯ	大豆	ˈsʰa mō
米	ˈqwe:	えんどう	ˈhta ṃ sʰā
種	ˈsʰa ṃ ɕ	落花生	ˈxwa sē
小麦	ˈqo	草	ˈtsa ṃ pu
大麦	ˈqo ṃ gā	きのこ	ˈʃa mū
青稞	ˈgo ru:	ひまわり	ˈni ma: ˈhse:
とうもろこし	ˈjuʔ me	米	ˈqɕ:

食物

ごはん	ˈse:	赤身	ˈʃʰo
粥	ˈqɕ: tʰoʔ	油	ˈjo:
小麦粉	ˈptsʰwiʔ	植物油	ˈma na:
豆粉	ˈsʰā ptsʰwiʔ	脂肪油	ˈpa:
モモ	ˈpʰa lu	バター	ˈma:
麺	ˈpə da:	ヨーグルト	ˈpa lwa
蒸しパン	ˈpʰa lwa	チーズ	ˈtɕʰa ṃ kā
朝食	ˈʃwa ze:	牛乳の膜	ˈʃʰa ṃ tē
昼食	ˈpa rwə	ツァンパ	ˈʃa buʔ ˈtsʰi
夕食	ˈsʰa du:	牛肉	ˈfi jaʔ ˈʃʰo
ミルクティー	ˈʃʰa dzə	ソーセージ	ˈfi dzu mō
肉	ˈʃʰo		

塩 `ts^hɔ
 砂糖 ^htɕ:
 氷砂糖 ˉta ɣa: ˉ^{fi}dõ
 酢 ^htɕu: ts^hu
 花椒 ^{fi}jɯ: mǎ
 卵 ^{fi}gõ mǎ
 スープ ˘dzɯ ts^hə?
 酒 ˉtɕ^hõ

湯 `tɕ^hɯ k^hu:
 茶 ˘tɕɔ
 タバコ ^htso jɛ̃
 薬 `mǎ
 麩 ^hkǎ ^hkǎ
 ぶたの餌 ˘pja ze?
 馬の餌 ˉ^hta tɕ^hu?
 鼻タバコ ˉⁿõ tɕa?
 豆粉麵 ˉfwĩ

衣料装飾

糸 `kɯ bɔ / ˘dza ^hkɯ?
 布 ˘re:
 コート ˘re: / ˘kə re:
 衣服 ˘ta p^hu
 チュバ ˘pʌ ɣo?
 襟 ˘ⁿǎ ^hkɯ
 袖 ˉp^hʌ dũ
 ボタン ˘dɔ
 ズボン ˘ta mu
 スカート ˘ⁿǎ: ɕ^hʌ
 スカーフ ˘pa re
 帽子 ˘sɔ wɔ
 ベルト ˉ^hka ra?
 靴下 ˘wa tsə

靴 ˘dza: xǎ
 ブーツ ˘xǎ
 起毛ジャケット ˘wõ tɕa?
 ハンカチ ˘la? ɕ^ho?
 櫛 ˘^ha mõ
 カーテン ˘tɕe t^hje
 珊瑚 ˘tsə ru
 真珠 ˘tsə ru
 象牙 ˘pa s^hu
 イヤリング ˉ?a lu
 ネックレス ˘ⁿa t^hwĩ
 指輪 ˘ⁿdzɯ dzǎ
 ブレスレット ˘lɛ? ^htɕ

住居

枕 ˉⁿǎ ^{fi}dzi
 布団 ^{fi}dǎ:
 座布団 ˘pɔ t^hũ
 家 ˉtɕ^hõ

屋根 ˘ⁿk^hõ ɯgu
 宿屋 ˘^ha x^hõ
 土台 ˘^ha tɕo?
 キッチン ˘^ha x^hõ

階層建築	ʔk ^h ə dī	柱	ʔka wɔ
階上	ʔk ^h ə dī	門	ʔ ^{fi} gu
階下	ʔ ^h tse: zɔʔ	門	ʔ ^{fi} gu t ^h ajʔ
牛小屋	ʔrə ^{fi} wɔ	玄関	ʔ ^{fi} go: mə ʔk ^h ajʔ
ぶた小屋	ʔrə ^{fi} wɔ	窓	ʔka: k ^h ü
馬小屋	ʔrə ^{fi} wɔ	階段	ʔdza kɛʔ
羊小屋	ʔrə ^{fi} wɔ	ステップ	ʔda kɛʔ
鳥小屋	ʔtsa x ^h ö	テント	ʔku
壁	ʔke:	庭	ʔ ^m bja roʔ
丸太	ʔ ^{fi} dü mə	トイレ	ʔ ^h tɕəʔ dzowʔ
板	ʔ ^h pā ⁿ dzə		

生活用具

もの	ʔtɕa ^h tsə	かまど	ʔdza t ^h ɔwʔ
テーブル	ʔse: ʔ ^h kaʔ s ^h u	鉄なべ	ʔsō:
いす	ʔdɔw s ^h ɔ	フライパン	ʔsō:
ベッド	ʔt ^h ə	蒸し器	ʔ ⁿ li: ʔtɕā
箱	ʔ ^{fi} gā:	ふた	ʔā ^u go
キャビネット	ʔdza ^{fi} gā	ナイフ	ʔtə dzī
入れ物	ʔt ^h ə ts ^h ö	柄杓	ʔ ^h jaw go
石罅	ʔeʔ ba ʔ ^h tui s ^h ɔ	しゃもじ	ʔ ^h tɕəʔ
ガラス	ʔ ^h aj ^{fi} gu	木製椀	ʔ ^h ī p ^h Λ
鏡	ʔ ^h aj ^{fi} gu	ボウル	ʔ ^h a ru
箒	ʔts ^h eʔ mā	皿	ʔts ^h aj ^h tɕə s ^h ɔ
明かり	ʔsō sō	箸	ʔse: sɔ: sə
蠟燭	ʔla	瓶	ʔ ⁿ dō rī ʔ ^h tə s ^h u
薪	ʔ ^h ēj	甕	ʔ ^{fi} za: mō
石灰	ʔ ^{fi} dΛ ʔΛ	茶漉し	ʔtɕu ru ʔ ^h a: s ^h ɔ
火箸	ʔmī:	魔法瓶	ʔtɕ ^h ui rɔʔ
ごみ	ʔts ^h eʔ la ʔ ^{fi} dzö s ^h ə	水がめ	ʔkə zu:
		三脚	ʔ ⁿ dza lu:

ふいご ʼmuu dū
 吊りベルト ʼtɕa bo
 お金 ʼtʰə tsʰɛ:
 定規 ʼtsʰu:
 針 ʼkʰɔw
 錐 ʼh tsa mō
 釘 ʼpa dɔw
 はさみ ʼtsū taw
 傘 ʼsʰoʔ ʰduʔ

その他道具

斧 ʼh ta ri
 金槌 ʼtʰaw wɔ
 鋸 ʼtsə ka ra
 錐 ʼm buu fiu
 鋏 ʼsʰə ji ʼxʰow
 鋤 ʼh ka mō
 皮の袋 ʼtʰe fia bo
 まな板 ʼrɛ wɔ
 ガソリン ʼjo:
 デイゼル ʼjo:
 縄 ʼtʰe bo
 鎌 ʼsɹ de:

文化教育

文字 ʼji ʒi
 本 ʼji ʒi ʰdzō sʰa
 紙 ʼsʰo ʒu
 インク ʼmo sʒi
 学校 ʼji ʒi ʰdzō sʰɔ
 チベット文語 ʼpaʔ ʒiʔ

鎖 ʰi da mi
 鍵 ʰi da mi
 棒 ʼba leʔ
 めがね ʼme: roʔ
 船 ʼtʰu
 電車 ʼga ʰdi
 飛行機 ʰi nā ru
 自転車 ʼh tɕaʔ ʰtɔ

織機 ʼlā m boʔ dzo sʰɔ
 包丁 ʼh ta ri
 銃 ʼn da
 弾 ʼn de fio
 弓 ʼn dɔ
 矢 ʼn dɔ
 火薬 ʼpʰa fio
 毒 ʼpa fiu
 機械 ʰi tɕʰa ʒuʔ
 ノート ʼji ʒi ʼtɕə sʰɔ
 キルト ʼkʰa lu
 マットレス ʼpə geʒ

笑い話 ʼga ʰluʔ ʼpʰuʔ sʰə
 歌 ʼla la
 民謡 ʼtʰā ko
 踊り ʰtʰu ʰi tɕʰā mɔ
 太鼓 ʰi ŋɔ
 どら ʰi tɕʰā lā

ベル	ʼtɕ ^h u ts ^h əʔ	ラマ	^{-fi} la mō
竹笛	^{-fi} laj	活仏	^{-fi} la h ^h pā
鈴	ʔə luʔ	尼	ʔa ni ^{-h} ka ŋə
ラツパ	ʼga ^{fi} dū	焼香	^h peʔ
映画	⁻ⁿ ts ^h e: mū ⁻ⁿ dzo mə	白塔	^{-fi} tɕ ^h oʔ ^h ta
神仏	ʔə	火葬	ʼmi na ^{-h} to:
女神	ʔa mū	天葬	^p tsa: ga ⁻ ra ka
鬼	^{-m} dʒi:	バター灯	^{-fi} tɕ ^h ɑ mi
女鬼	ʼm ^h m ^h dʒi:	カタ	ʔ ^h a dɑʔ
悪魔	ʼfa ⁻ mū	お経	⁻ⁿ da ⁿ da
仏陀	^{-fi} la mō		

抽象物

中国	ʼmə ^{fi} dzi ke ⁻ s ^h a tɕ ^h ə	影	ʔɕ ^h ʔ ^h siʔ
地位	ʼmə tɕiʔ ke ^{-h} s ^h u:	色	⁻ xā ^m bu
優待	ʔe: mə	性格	ʔu: lō
苦しみ	^{-h} ka: mə la t ^h eʔ	力	ʔ ^h a mō s ^h ə
間違い	ʼmi ŋe:	菌磨き粉	⁻ s ^h u ^h tʃu s ^h ə
危険	^p tɕe: mə la t ^h eʔ	裸足	^{-h} kō rā
吉祥	ʔe: mə la t ^h eʔ	引き出し	⁻ⁿ t ^h ā ma
感謝	ʼnā: dzə	国家	ʔŋə tɕə ke ⁻ s ^h a tɕ ^h ə
裂け目	ʔgɛ:	歩行	ʼnō gə ma

位置方角

方向	ʔka: bə	左	ʔji leʔ
東	ʼni ma ʔ ^h a ts ^h oʔ	右	ʔō leʔ ^{-p} ts ^h ə
西	ʼni ma ⁻ nəw ts ^h oʔ	前	ʔjā na ʔjā na s ^h ə
中間	^{-h} tɕiʔ xo	後	ʔkow dzoʔ
そば	⁻ tsə ^{fi} goʔ	外側	^{-fi} dzoʔ ^p ts ^h ə / ^{-p} ts ^h ə

内側	ʼnō nə	ふもと	ʼzɔwʔ
頂上	ˀᵒgu	上へ	ˀna ra
上側	ʔkə hū ˀpʰtsʰə	下へ	ˀmə ma
下側	ʔkə zu: ˀpʰtsʰə	上半身	ʔlu pʰu ˀpʰtsʰa ke: ˀzuʔ
上	ʔke	下半身	ʔlu pʰu ˀkə zɔwʔ
下	ˀʂɔwʔ	端	ʼdzo: tsʰə
高いところ	ˀnō	底	ˀsʰa xʰɔʔ
上のほう	ˀhū		

時間

時間	ˀtɕʰu tsʰəʔ	たつ	ˀᵒdʌ wu
今日	ʼta re	み	ˀfi di:
昨日	ʔkʰa zō	うま	ˀhɔ
おととい	ˀkʰa ŋɛ hku	ひつじ	ʼrɔ
さきおととい	ˀŋa ŋɛ hku	さる	ʔa hɰwi
明日	ʼnō hka	とり	ˀpʰtsɔ
あさって	ˀfi nō ŋi	いぬ	ʔa tɕʰə
しあさって	ˀfi zɛ: ŋi	い	ˀpʰaʔ
今晚	ˀta mā	1 日	ʼtsʰe dzeʔ
明日の晩	ʼnō hka ˀrə mā	2 日	ʼtsʰe ŋū
昨日の晩	ʔkʰa zō mā	午前	ˀn dza la rwa
昼間	ˀŋɛ hku	午後	ˀn dza la dzoʔ
朝	ˀrɔʔ tɕʰi	誕生日	ˀfi tʰu mə ke ˀtɕʰu tsʰəʔ
正午	ˀn dza rwə	今年	ʼtsa tɕe
夜	ˀn tsʰā ˀtɕe: / ˀn tsʰā nə	去年	ˀsʰō m pʰʌ
夜中	ˀsʰā pʰtsʰə	おととし	ˀfi na ni
真夜中	ˀn tsʰā pʰtsʰə	来年	ˀsʰō pʰʌ
ね	ˀtso fi wɔ	再来年	ˀfi zi: pʰʌ
うし	ˀfi lō lu	以前	ˀŋa ri
とら	ˀhɰʔ	今	ʼta du:
う	ʼrə mō	未来	ʔkow tɕo

はじめ	ʔa do:	冬	^{fi} gũ rə
月曜日	^h tceʔ	新年	ʔo s ^h a:
火曜日	^{fi} ŋũ	冬至	^{fi} gã ⁿ ts ^h õ
春	^{fi} ja: k ^h ɔʔ	夏至	^{fi} ja: ⁿ ts ^h õ
夏	^{fi} ga: x ^h ɔʔ	日食	ʔni mō ⁻ⁿ dza:
秋	^{fi} gã x ^h ɔʔ	月食	ⁿ da ŋĩ ⁻ⁿ dza:

数字

一	^h tceʔ	二十八	ʔə ʂ ^h u ^{-h} tsa: ^{fi} dzaʔ
二	^{fi} ŋũ	三十	^{-s} ʰl̥ tɕu
三	^h sõ	三十二	^{-s} ʰl̥ tɕu ʔs ^h o: ŋũ
四	^{fi} zə	三十八	^{-s} ʰl̥ tɕu ʔs ^h o: ^{fi} dzaʔ
五	^{fi} ŋõ	四十	^{fi} zə ^h tɕu
六	^{-t} ɔwʔ	四十三	^{fi} zə ^h tɕu ʔse: ^h sõ
七	^{fi} dã:	五十	^{fi} ŋa ^h tɕu
八	^{fi} dzaʔ	五十四	^{fi} ŋa ^h tɕu ^{fi} ŋɔ: ^{fi} zə
九	^{fi} gu	六十	ʔtuw zɯ
十	^h tɕu	六十五	ʔtuw zɯ ʔre: ^{fi} ŋɔ
十一	^h tɕuw ziʔ	七十	^{fi} dã: zɯ
十二	^h tɕu: ŋũ	七十六	^{fi} dã: zɯ ʔtã ɖɔwʔ
十三	^h tɕu: ^h sõ	八十	^{fi} dza: zɯ
十四	^h tɕi: ^{fi} zə	八十七	^{fi} dza: zɯ ʔtɕaw dã
十五	^h tɕɔ ^{fi} ŋɔ	九十	^{fi} gu dzɯ
十六	^h tɕɔ ɖɔwʔ	九十八	^{fi} gu dzɯ ʔko: ^{fi} dzaʔ
十七	^h tɕi: ^{fi} dã:	九十九	^{fi} gu dzɯ ʔko: ^{fi} gu
十八	^h tɕɔw dzaʔ	百	^{fi} dzo
十九	^h tɕi: ^{fi} gu	百一	^{fi} dzo: nə ʔdɿ tɕiʔ
二十	ʔə ʂ ^h u	百八	^{fi} dzo: nə ⁻ dzaʔ
二十一	ʔə ʂ ^h u ^{-h} tsa: zɛjʔ	八百八十	ʔdzaʔ ^{fi} dzo: ^{-no} ^{fi} dza: zɯ

千	- ^h tō - ^h tce?	一億	- ^m bō ^h tce?
万	- ^h ə - ^h tce?	半分	- ^p ts ^h ə ^h ke
十万	- ^h tceu zo: - ^h tce?	第 1	ʼnō ŋā ⁿ di
百万	- ^h tceu zo: - ^{fi} dzo	第 2	ʼko ^{fi} dzo di

数量詞

1 人	ʼmə ʼze: bō	1 包み	ʼdzi: be
1 碗	- ^p ^h Λ ruu ʼdə zi	1 瓶の酒	- ^t ce ^h ō ʼs ^h e: dā ʼkō
1 ページ	- ^s ^h o ʾo ʼdə zi	1 つの泥	- ^s ^h ə ^h pa - ^{fi} go
1 本の草	- ^h tsa ^h puu ʼdə zi	1 斤	ʼdza mō
1 粒の米	- ^u qe: ʼdə zi	2 両	- ^h sō du
1 つかみの野菜	ʼts ^h aj - ^h pa: ʼgō	1 元	ʼtə ʼ ^h tci?
2 つかみの米	- ^u qe: - ^h pa ro - ^{fi} ŋə	1 角	- ^t ō ʼ ^h tci?
1 杯	ʼtce: dzo: ʼdə zi	1 日	ʼŋā ze?
1 桶の水	- ^t ce ^h uu ʼs ^h ə gō	1 夜	ʼŋā ze?
1 碗のごはん	- ^u qe: - ^p ^h Λ ʼgō	1 か月	- ^{fi} da - ^{zi} ?
1 つかみの土	ʼsē ʼdə zi	1 年	ʼΛ - ^{zi} :
1 時間	- ^t ce ^h uu ^h s ^h ə? ʼdə zi	1 歳	ʼΛ - ^{zi} :
1 輪の花	ʼmə do: ʼdə zi	一生	ʼmə ts ^h i: - ^{zə} ?
1 文	ʼtō ts ^h ej - ^h tce?	1 歩	ʼfiə ʼkū ^u gō
1 そろいの靴	- ^t hē xā ʼdə zi	1 度	- ^{xo} tce?
1 群れの羊	ʼrō ʼka ʾō	1 声あげる	- ^h tsuʾ ^h tceē ba
1 区画の道路	ʼlā toʾ ʼmə zə	1 回打つ	ʼdə zi - ^h lā
1 日の旅程	ʼŋa: ʼrē ^u ga ^h tce?	1 噛みする	- ^k ^h ā ʾō ʼ ^u qa?
片方の靴	ʼdza: xā ʼdə zi	いくらか	ʼtə zi?
1 巻きの紙	- ^s ^h o ʾu - ^{fi} də le? ʼdə zi	いくつか	- ^k ^h a dō zə?
1 口の食事	ʼse ^{fi} ŋo: ʼfiə za	毎日	ʼŋī tci ka
1 袋	ʼdzi: bi ʼdə zi	毎晩	ʼnō: - ^{mə} mə
1 つの部屋	- ^t ce ^h ā ʼdə zi		

代名詞

私	ʼŋɔ	これら	ˉnə lō ʼnə ku
私たち 2 人	ʼŋa ŋi ŋə	ここ	ˉʔa lō
私たち	ʼmə zā ʼrō ku	この 2 つ	ˉʔa lō ʼmə ʷgu ˉŋə
あなた	ˉtɕʰɔʔ	あれ (近)	ˉʔa dzo:
あなたたち 2 人	ʰiwa ŋi ŋə	あれら	ˉʔa dzo ʼlū ku
あなたたち	ʼtɕʰi zā	あそこ	ʼʔa dzo
彼 (彼女)	ʼti:	あの辺	ʼʔa dzo
彼ら 2 人	ʼti: ŋi ŋə	誰	ˉsʰu
彼ら	ʼti: ŋi ŋə	何	ˉtɕə
我々	ˉʰi lō ku	どこ	ʼke: pə
自分	ʼfiō reʔ	どれくらい	ˉŋō ŋō ˉzəʔ
他の人	ʰi zā	すべて	ʼji: tɕʰi
これ	ˉʔa lō	いつか	ˉʔaw bjaw

形容詞

大きい	ʼtɕʰa: mə	深い	ʼso: mə
小さい	ˉtɕʰū nə	浅い	ʼmi zo: mə
太い	ʰi bō mə	満ちた	ʼkō mə
細い	ʰtʰo: mə	空の	ˉh tō ˉm bo
高い	ˉŋ tʰu: mə	少ない	ˉto: zə
低い	ˉsa: wə	丸い	ʰka ʰko:
長い	ʼrī mə	平たい	ˉh sɔʔ ʰsɔʔ
短い	ˉtʰū ŋə	尖った	ˉfi nu ʰnu
遠い	ʼta: mə	禿げた	ʰgwa ma
近い	ˉma ʰtɕāʔ	水平の	ʰhī ʰhī
中間の	ʼta: kɔʔ	歪んだ	ʰi dze: mə
幅広い	ʼrī mə	横の	ˉh sɔʔ ʰsɔʔ
狭い	ˉtʰū mə	縦の	ʼkoʔ ko:
厚い	ˉŋ tʰɔw mə	まっすぐな	ˉsā sã
薄い	ˉpʰow mə	曲がった	ʼko ʔo

黒い ʼna: bu
 真っ黒の ʼnā: bu ʼna?
 白い ʰka? pu
 赤い ʰi ma? pu
 真っ赤の ʰi ma? pu ʰma: sʰi sʰi
 黄色い ʰsʰa? pu
 真っ黄色の ʰsʰa? sʰa ʰzə t̚
 緑の ʰŋā du
 青い ʰŋā du
 真っ青の ʰŋā sʰu sʰu
 灰色の ʰtʰje? hka: rə
 明るい ʰsʰō sʰō
 まぶしい ʰsʰō zu zu
 ゆっくりの ʰho: mə nə tʰe
 早い ʰdzo: mə na
 遅い ʰtsʰə mə na
 太った ʰtsʰu: mə ʰna tʰe
 肥えた ʰtsʰu:
 やせた ʰi go: mə ʰna tʰa:
 乾いた ʰkū mə tʰe:
 湿った ʰda: də ʰza: rə ʰma tʰe
 きつい ʰtū tū
 ゆるい ʰla? la?
 めちゃくちゃの ʰgwa fie ʰdzo fie
 正しい ʰne: mə
 誤った ʰtʰu: ŋa
 真の ʰne: mə
 にせの ʰtca di
 新しい ʰsa ʰpu
 古い ʰni: bə

よい ʰne:
 悪い ʰtʰu:
 高い ʰkū ʰtca: ma
 安い ʰkū ʰtceʰe mu
 若い ʰna sʰu ʰtceʰu: mə
 美しい ʰn dze: mə
 醜い ʰmə ʰn dze: mə
 熱い ʰtsʰa: mə
 寒い ʰtʰje: mə
 涼しい ʰtu: mi tu:
 難しい ʰkə:
 簡単な ʰtə / ʰmə ʰkwə
 芳しい ʰsā mə bo ʰtʰi tsʰū nə
 くさい ʰfiaj nə mə bo ʰtʰi tsʰū nə
 おいしい ʰsā mə bo ʰtʰi tsʰū nə
 酸っぱい ʰtceʰu ʰlō tʰi sə
 甘い ʰi ŋa: mə
 にかい ʰka: mə
 辛い ʰzo: mə
 塩辛い ʰka: mə / ʰtsʰə tca sə
 淡白な ʰtsʰə ʰmə ʰdzə də
 忙しい ʰka: / ʰba? gu
 裕福な ʰtsʰaw wu
 貧しい ʰpi:
 清潔な ʰtsō mə
 汚い ʰmə mā:
 生きている ʰsā mə bu
 おいしい ʰsā
 聞きよい ʰne: mə jī
 見よい ʰn dze:

つらい ^h kwə ma	怠惰な ^l e: ^ŋ gu ^ʼ mi ^ŋ ā
急ぎの ^ʼ bdʔ gu	行儀のよい ^ʼ ko: ^ŋ e: mə
賢い ^{fi} gɔ	かわいそうな ^ʼ ŋē xa ^ʼ mo: ro:
愚かな ^ʼ nə ʔa: mə	うれしい ^ʼ ŋā zə
正直な ^{fi} le:	幸せな ^h tɕə zə
ずる賢い ^{fi} gɔ	平和な ^{fi} de ^{fi} de ^ʼ dzɔ̃ ^ʼ dzɔ̃ nə
厳しい ^ʼ ŋe:	嫌な ^ʼ n ^h ɔ:
まじめな ^{fi} zi: / ^{fi} zi: ^ŋ ō	

動詞

愛する ^{fi} gɔ:	拭く ^ʼ n ^h ts ^h ə
好きだ ^{fi} gɔ:	隠す ^ʼ fi ^h bō
淹れる ^h ku:	搔く ^ʼ ŋda:
抜く ^ʼ p ^h uʔ	はさみ込む ^ʼ tɕaw ^{fi} dzɔʔ
壊して開ける ^ʼ ts ^h ɛj	縫い目を解く ^ʼ h ^h tɕejʔ
拝む ^ʼ ts ^h ɛaʔ ^ʼ n ^h ts ^h e / ^ʼ h ^h tɕō dze:	破壊する ^ʼ h ^h tɕejʔ
引越す ^h pu	撒く ^ʼ h ^h taw
移動させる ^ʼ t ^h aj	歌う ^ʼ lā
結ぶ ^ʼ gje: mə	騒ぎたてる ^ʼ h ^h tse:
包む ^ʼ tā	炒める ^ʼ ŋu:
満腹になる ^h ta wɔ ^ʼ ŋdō	傘を開く ^ʼ k ^h aw
むく ^ʼ p ^h kwoʔ	盛る ^ʼ jiʔ ^h tɕə
はぐ ^h kwə	食べる ^ʼ so:
暗唱する ^ʼ nda / ^ʼ nə ^{fi} lā	ほとばしる ^ʼ h ^h se:
閉ざす ^ʼ tsō	タバコを吸う ^ʼ n ^h ts ^h o jā ^ʼ n ^h tō
編む (お下げを) ^ʼ sa / ^ʼ la	出る ^ʼ ka tɕ ^h ō ^ʼ ŋgo
編む (かごを) ^ʼ n ^h e: mə	取り出す ^ʼ s ^h o di ^ʼ n ^h ts ^h a
病気である ^ʼ na:	日が昇る ^ʼ ŋi mɔ ^ʼ s ^h a:
繕う ^ʼ lā ^m bo ^ʼ fi ^h dzəʔ	出てくる ^ʼ ŋg ^h dzɔ:
補修する ^ʼ lā ^m bo ^ʼ fi ^h dzəʔ	掘り起こす ^ʼ p ^h uʔ
	着る ^ʼ tɕā

履く ʔtēi
 穴に通す ʔdzē
 伝染する ʔnō ʔguj
 吹く ʔmō mā
 吹き飛ばす ʔmbu dū
 打つ ʔdū
 刺し傷が痛む ʔdzə: mō
 ぶつ ʔne ʔbe ʔdzə?
 撃つ ʔna: ʔdzəw?
 けんかする ʔdze ʔbe ʔdzəw?
 引いてくる ʔdzəw?
 薪拾いをする ʔsi: mō
 賭ける ʔnā ʔhɛu
 居眠りする ʔmō? ʔdzū
 あくびする ʔkā ʔmbo ʔpō
 しゃっくりする ʔxa xwo: mō
 開ける ʔtsʰe: mō
 持ち歩く ʔnā ʔgɔ
 戦争に行く ʔme ʔdzi: ʔdzə? gō
 結び目を作る ʔduʔ pɔ ʔdzəw?
 くしゃみする ʔtɛʰu
 世話をする ʔʰə?
 導く ʔā ʔtɛʰō ʔgo
 かぶる (帽子を) ʔdzē
 かぶる (布を) ʔdzəw?
 点火する ʔmī ʔbu mō
 燃える ʔmī ʔbu mō
 灯す ʔmī ʔba:
 落ちる ʔtsō le: ʔdzəw? mō
 釣る ʔdzə? mō
 転ぶ ʔkʰa ʔlɑ ʔkə: mō

叩き入れる ʔdzəw? mō
 読む ʔna: mō
 ふさぐ ʔgo mō
 切れる ʔtɛʰa? mō
 飢える ʔto? ʔwo ʔtɛ?
 熱がある ʔtsʰa rɔ ʔdzə?
 翻す ʔtsʰa ʔdzi ʔpʰa ʔdzi?
 振り返る ʔtsʰa ʔdzə? ʔpʰa ʔdzi?
 反対する ʔtsʰa ʔdzə? mō / ʔpʰa ʔdzə? mō
 飛ぶ ʔpʰa: mō
 分かち合う ʔgu mō
 分家する ʔgu rɔ
 手を置く ʔtə mɔ ʔdzə:
 乾く ʔkū
 働く ʔɛ ʔkwə mō
 風邪を引く ʔʔə tɛʰā ʔsʰə?
 切り分ける ʔtɛa? mō
 切断する ʔtɛa? mō
 切ってしまう ʔne ʔtsə ʔtō mō
 刈る ʔtɛa? mō
 与える ʔtɔ: mō
 いっぱいである ʔtɛʰo: rɔ
 閉める ʔbā ʔdā
 囲い込む ʔtsu:
 灌漑する ʔba ʔtaw
 年越しする ʔlo ʔsʰa: ʔno:
 渡る ʔgo bɔ:
 経る ʔnə
 恥ずかしがる ʔtsʰwe: bɔ
 怖がる ʔtɔ:

呼ぶ	ˠm̥bʌʔ	過ぎる	ˠpʰtsʰəʷgo ˠbəʷgo be
飲む	ˠpʰʌ ˠtʰō	挙げる	ˠpʰʌ pʰuʔ
こぐ	ˠtʷ ˠgo	のこぎりで切る	ˠpʰʌ ˠtʰə
身ごもる	ˠtʰu ɣi ˠbo: mə	開ける	ˠba pʰtsʰe
払い戻す	ˠɸaʔ ˠpa:	沸く	ˠkʰu:
返却する	ˠfi:ja: zə lə ˠrə ˠpa: tʰa:	開く	ˠdzō gɛ
答える	ˠrā ˠgo ˠsʰa ˠtʰaʔ ˠbe:	運転する	ˠpʰʌ kʰaj
搾り出す	ˠpʰʌ ˠtsa:	始める	ˠsʰō sə
搾る	ˠzu:	切り倒す	ˠba ˠdze:
送る	ˠkʰa sū	切る	ˠtʰaʔ
締めつける	ˠpʰʌ ˠga:	見る	ˠpʰā ˠdzaw:
はさむ	ˠba rə ˠlō	見える	ˠtsʰa
選び出す	ˠba lō	医者に見せる	ˠdzə:
はさみで切る	ˠtsā taw	暖める	ˠmba:
水を引く	ˠtō mə	ぬかす	ˠgu ˠpʰʌ ˠgu
こげる	ˠba la:	咳をする	ˠsʰə ˠo:
鳥が鳴く	ˠtso ˠte:	刻む	ˠkʰaw ˠko
猫が鳴く	ˠtsə lə ˠtʰā	賛成する	ˠkʰu ˠpʰʌ zu:
馬が鳴く	ˠtə ˠtʰā	ボタンをかける	ˠdʰoʔ ba ˠdzəʔ
牛が鳴く	ˠpə ˠtʰā	泣く	ˠba bə ˠju
犬がほえる	ˠtʰə ˠdzā	引く	ˠpʰʌ ˠtʰā
ぶたが鳴く	ˠpʰaʔ ˠdzā	辛い	ˠxe zo ˠkʰo:
羊が鳴く	ˠra ɣə ˠtʰā	来る	ˠpʰtsʰə ˠsʰoʔ
トラがほえる	ˠtʰaʔ ɣə ˠtʰā	年をとる	ˠgā
狼がほえる	ˠzi: ɣə ˠtʰā	疲れる	ˠkwə
剥く	ˠhkwə	乾かす	ˠde su
結氷する	ˠtʰaʔ rō ˠkʰe:	おしゃべりする	ˠsʰwaʔ tʰeʰa
お金を借りる	ˠtsə tsʰa ˠtsʰa ˠfi:ja:	耳が聞こえない	ˠfi:na ɣē ˠo
ものを借りる	ˠtʰa bu ˠtsʰa ˠfi:ja:	漏らす	ˠse: ˠaʔ
入る	ˠgo	乱す	ˠwā ˠla:

日が沈む ʼni mo ʼlo:
 叱る ʼde: lo:
 買う ʼnã ʳga
 売る ʼh̄tsõ ʳga
 満ちる ʼkõ la:
 ない ʼma: la:
 燃え尽きる ʼbã ʳgũ:
 さえずる ʼtũ
 研ぐ ʼpʰã ʳda:
 粉をひく ʼpʰã tsʰaw
 絞る ʼh̄tɕaw la:
 這う ʼh̄tɕe:
 山に登る ʼla xʰõ ʳgo
 木に登る ʼs̄h̄i ʳh̄ũ ʼh̄ta:
 走る ʼbõ ʳdzawʔ da:
 茶を入れる ʼpʰã ʳdaw
 木を切る ʼs̄h̄i ʼh̄tɕaʔ
 ほとばしる ʼfi dzã
 破れる ʼtɕe:
 傷つく ʼh̄sɕej mɔ
 壊れる ʼh̄tɕa: mɔ
 敷く ʼm̄bã ʼbõ ʳde:
 だます ʼm̄pʰẽ ʼfi dzɔʔ
 レンガで造る ʼh̄taw ʼh̄tɕaʔ
 乗る ʼh̄tɕɔ
 起きる ʼja lõ
 牽引する ʼh̄tʰɔʔ ʼlõ
 負う ʼxã rã ʳga zo:
 略奪する ʼh̄tʰõ
 叩く ʼs̄h̄u ʳji ʼfi dzɔ

振り上げる ʼh̄tɕeʔ
 詮索する ʼh̄saj
 切り刻む ʼh̄tɕẽ
 取る ʼlõ
 娶る ʼnã s̄a: ʼtʰo:
 行く ʼs̄h̄õ
 治癒する ʼh̄te:
 温める ʼts̄h̄ã m̄bu
 もむ ʼfi ni mɔ
 撒く ʼfi dzɔwʔ
 小便する ʼh̄tɕẽ ʼh̄tõ
 掃く ʳts̄h̄eʔ ʳts̄h̄eʔ
 殺す ʼh̄soʔ
 日にさらす ʼfi de: zɔ
 日向ぼっこする ʼni mo ʼpʰã ʳde:
 傷つける ʼnã ʼh̄te:
 上がる ʼkã t̄i ʼl̄dɔ
 成長する ʼle: ʳdɔʔ
 産む ʼh̄tʰu
 腹を立てる ʼtuʔ lɔw
 昇る ʼtʰuʔ
 である ʼji ʳõ
 収穫する ʼtu tɕa: ʳruʔ
 髪をとく ʼh̄ta: ʼs̄h̄ãʔ
 調理される ʼn̄ts̄h̄e:
 やせる ʼh̄kɔ:
 ゆすぐ ʼh̄tu
 眠る ʼpʰã ʳge:
 寝つく ʼme bã ʳdzɔʔ
 話す ʼh̄s̄wãʔ tɕʰã ʼbe:

裂く	^{-h} tə	消化する	ˈse: ˈx ^h õ ŋwa? ˈŋa
錠をする	ˈbɿ ˈdzɔw?	気をつける	ˈte dzø ˈbɛ
横になる	ˈpʰts ^h e: ba ˈpʰts ^h i	笑う	ˈŋiɿ:
逃げる	ˈfi dzɔ: ˈnõ ˈŋiɿ	書く	ˈpə ˈfi dɔ
着る	ˈdzã	下痢する	ˈto wɔ ˈhɿɿ:
頭痛がする	ˈŋi gu ˈna:	目覚める	ˈmaj ɣə ˈs ^h a?
蹴る	ˈfi do: ˈn ^h ɿu ŋa:	恥ずかしがる	ˈtɿ? dzi ma
剃る	ˈma:	刺繍する	ˈh ^h tse:
夜が明ける	ˈfi nã ˈs ^h õ la	学ぶ	ˈfi dzõ
暗くなる	ˈmã ˈtsə la	育てる	ˈh ^h su
なめる	ˈfi de?	揺する	ˈh ^h si?
踊る	ˈpʰtʰu ˈtɿ ^h ã	嘔む	ˈn ^h dɿ:
聞く	ˈnẽ	掬う	ˈh ^h tɿu
盗む	ˈh ^h ku	必要である	ˈgø:
吐く	ˈh ^h tɿaw	引き入れる	ˈlã ˈt ^h ũ
押す	ˈh ^h tɿa:	抱擁する	ˈlã ˈfi go ˈdzaj
引きずる	ˈn ^h t ^h ã	泳ぐ	ˈtɿ ^h u ˈh ^h tɿe:
掘る	ˈfi lo:	持っている	ˈja:
遊ぶ	ˈwo tɿ ^h a:	いる (人が)	ˈjiã:
忘れる	ˈw ^h zɿ ˈfi zɔ:	存在する	ˈm ^h bɛ
餌をやる	ˈse: sa	出会う	ˈnã / ˈn ^h dã
尋ねる	ˈtə	めまいがする	ˈŋi gu ˈlã gə ˈji? k ^h əw
握る	ˈn ^h dzo re:	栽培する	ˈtso ɣə
ふさぐ	ˈko:	いる (中に)	ˈfiã zu:
洗う	ˈh ^h tʰu	刺す	ˈn ^h dzui?
好む	ˈfi gwɔ	刺しこむ	ˈfi gaw?
下りる	ˈŋiɿ	瞬きする	ˈn ^h t ^h e:
産む	ˈn ^h t ^h u	摘む	ˈh ^h tsɔw / ˈtɿa?
卵を産む	ˈmã ˈh ^h tã	立つ	ˈpə lõ
雨が降る	ˈbu?	引っ張って開く	ˈfi dã
思う	ˈh ^h sã nɔ ˈbɿ ˈh ^h tã	大きくなる	ˈtɿa: zu

かさが増す ʼza:
 腹が張る ʼfi bo:
 火をつける ʼme ʼm be
 風邪を引く ʼh tɕʰeʔ sʰō
 探し出す ʼtʰaʔ zu
 刺す ʼh keʔ ʰtsʰō tʰaʔ
 蒸す ʰsʰe:
 知っている ʼsʰe:
 種をまく ʼh tso mə
 煮る ʼp tsu
 ひつつかむ ʼɛ: qo: zu
 角を曲がる ʼfi dzō ʼh ko ʰko zu

詰める ʼnō ʰtoʔ
 ついばむ ʼso mə
 行く ʰgɿ zu
 呪う ʼh ʼlāʔ
 中に入る ʼlō
 酔う ʼze zə
 座る ʼfi dɿwʔ
 する ʼw zu
 夢を見る ʼmə lā ʼh mī
 商売する ʼtsʰuʔ ʰdzō ʰgə
 連れる ʼrɔ ʰdzɔ ʰgə / ʼrɔ ʼh tɕɔw

その他の品詞類

ほとんど ʼja: mō ʼh tɕə zə
 もちろん ʼne ne
 たった今 ʼda: zi
 そして ʼnō
 今すぐ ʼpa ʰdo:

一緒に ʼtʰā: du / ʼlā ʰgu
 それから ʼtʰā du
 最後に ʼko ʰdzɔ
 突然 ʼfi dzɔʔ xɔ / ʼʔa do ʼʔa do